年度 2008 学期 前期	曜日・校時 月曜日・2校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 102・中部講堂	
対象学生(クラス等) La Ea	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 岡林隆敏/Eメールアドレス:okabayas@civil.nagasaki-u.ac.jp/研究室:工学部/TEL:819-2621 /オフィスアワー:月曜日午後 高橋和雄/Eメールアドレス:takahasi@civil.nagasaki-u.ac.jp/研究室:工学部/TEL:819-2610/オフィスアワー:月曜日 14:30-17:30 高木保昌/Eメールアドレス:takaki@nagasaki-u.ac.jp /研究室:水産学部/TEL:819-2801 /オフィスアワー:月曜 13:00-17:00 舟越耿一/Eメールアドレス: funakoe@nagasaki-u.ac.jp/研究室:教育学部/TEL:819-2306 /オフィスアワー:木 3			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 :特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」3回、「長崎(安全・安心)」1回、「平和」3回、「海洋と文化」3回を講義する。 授業到達目標:特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 長崎: 長崎の都市形成史の概要を講義します。 第1回は長崎市の町立てから幕末まで、主に江戸時代の都市形成。 第2回目は近代の長崎市の都市形成、道路・港湾・水道など近代化する都市の姿を見ます。 第3回目は長崎と上海の交流を見ます。自動車・鉄道・船舶の連携による長崎の発展する様子を見ます。 映像で構成された講義です。町立てから昭和戦前期の長崎市の都市の形成の流れを理解することが講義の目的です。 長崎(安全安心):長崎に発生した豪雨、地震、台風、火山噴火等による自然災害の概要、教訓、復興対策から、日頃からの地域や個人での災害に対する備え、助け合いの大切さを学びます。 海洋と文化: (1) 長崎の海と外国往来船 長崎の海は早くから外国との交わりが深く、色々な文化が持ち込まれた。その海を利用して文化交流が船によってもたらされた背景を学ぶ。 (2) 西海の海 長崎の海は、近海・東シナ海と好漁場を持ち、多数の魚が捕獲され、長崎の水産業は発展を遂げた。資源(魚・鯨)の減少・大陸棚・200海里問題等で衰退している現状を学ぶ。 (3) 練習船発祥地長崎 練習船発祥の地、長崎を通して教育練習船の歴史背景について学ぶ。また、長崎大学水産学部練習船の概要を知る。 平和: 1, 長崎から平和多文化共生の理念を構想する 2, 被爆都市長崎と兵器生産 3, 報復の連鎖を断つことばを求めて 第1回 4月14日 特別講演Ⅰ 齋藤 寛 (学 長) 第2回 4月21日 長 崎 岡林隆俊 (工学部) 第3回 4月28日 長 崎 岡林隆敏 (工学部) 第4回 5月12日 長 崎 岡林隆敏 (工学部) 第5回 5月19日 長崎(安全・安心) 高橋和雄 (工学部) 第6回 5月26日 特別講演Ⅱ 松本慶蔵(名誉教授) 第7回 6月 2日 海洋と文化 高木保昌 (水産学部) 第8回 6月 9日 海洋と文化 高木保昌 (水産学部) 第9回 6月16日 海洋と文化 高木保昌 (水産学部) 第10回 6月23日 特別講演Ⅲ 水田善次郎(名誉教授) 第11回 6月30日 特別講演Ⅳ 釘宮敏定(名誉教授) 第12回 7月 7日 平 和 舟越耿一 (教育学部) 第13回 7月14日 平 和 舟越耿一 (教育学部) 第14回 7月28日 平 和 舟越耿一 (教育学部) 第15回 8月 4日 特別講演Ⅴ 福永博俊 (教育担当理事)			

キーワード	長崎:長崎の都市形成史 長崎(安全・安心):自然災害、減災社会、公助・自助 海洋と文化:海洋貿易 平和:原爆 兵器生産 キリシタン弾圧
教科書・教材・参考書	長崎:参考書:岡林隆敏著:上海航路の時代、長崎文献社 長崎(安全・安心):印刷物を配布する。 海洋と文化:教科書は使用しない、講義には適時資料を配付する。(参考書:長崎県の歴史) 平和:印刷物を配布する。
成績評価の方法・基準等	長崎27点、長崎(安全・安心)9点、平和27点、海洋と文化27点、特別講演10点の配点とする。 長崎:毎回レポートの課題を出し、3回のレポートにより評価する。 長崎(安全・安心):レポート9点 平和:毎回のレポート各9点 海洋と文化:レポート(毎回、3回9点)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	